

長崎市歴史民俗資料館



資料でみる長崎の郷土芸能



秋の 郷土芸能展



令和8年9月3日〔木〕～10月25日〔日〕

開館時間＊ 9時～17時（入館は16時半まで） 休館日＊ 月曜日

唐人船頭衣装



今鍛冶屋町宝船の図



入館
無料

長崎市 歴史民俗資料館（平和会館地下1階）

〒852-8117 長崎市平野町7番8号 TEL&FAX：095-847-9245



歴史民俗資料館
ホームページ

企画展

長崎市内には、江戸時代、天領長崎の諏訪神社のくunchや大村藩や佐賀藩などの各藩領であった地域に伝わる郷土芸能が、現在も受け継がれています。

9月から10月にかけての秋の季節は、長崎くんちをはじめ、市内各地の神社で秋祭り「郷くunch」が行われます。そこでは地域に脈々と伝わる郷土芸能が奉納されます。

今期企画展では、長崎くんちはもちろん、郷くunchで披露される郷土芸能の演目についてご紹介します。長崎くんちの演目を題材に、土産品として作られたミニチュア玩具やくunchの衣装とともに、魅力と行事の賑わいを感じていただき、現地にも足を運んでいただけたら幸いです。

長崎くんち

長崎くんちは、寛文11年(1634)に始まりました。

初日の7日に諏訪神社の踊り馬場にて踊町が奉納踊りを行い、神輿は大波止の御旅所へ渡御(お下り)します。8日の大祭に湯立神事が執行され、9日神輿の還御(お上り)をもって終了します。

奉納される演し物には歴史や町の地理に関係するものなど題材はさまざまです。種類としては大きく、踊り・曳きもの・担ぎもの・通りもの(*現在ではみられない)の4つに分類されています。これまでの長い間に、戦災や災害、さらに町界町名の変更などを経て、時代によって踊町の数や演し物も変化してきました。

郷くunch

市の周辺部、旧藩領の地域に伝わる芸能でもっとも多いものは肥前系統の浮立です。雨乞いなど、農業を支える大事な芸能でした。また伊良林の若宮稲荷神社に奉納される竹ん芸は、囃子の音曲によって青竹の上で演技をします。今期は数ある郷土芸能のなかから、いくつかをご紹介します。

長崎市の民俗芸能HP
2026郷くunch紹介⇒



若宮稲荷神社
竹ん芸



駅前町の唐人船頭衣装
(上衣)



今鍛冶屋町宝船の図

踊り



郷土玩具・オランダ万才



郷土玩具
くじらの汐吹き

曳きもの



郷土玩具
唐人船



郷土玩具
太鼓山

担ぎもの



郷土玩具
龍踊

アクセス

路面電車・バス停留所「原爆資料館」
ともに下車徒歩5分

長崎市歴史民俗資料館

〒852-8117 長崎市平野町7番8号

(平和会館地下1階)

TEL & FAX : 095-847-9245

E-mail : rekimin@city.nagasaki.lg.jp

